

提案名：宮のまちかど アウトドアプレイス

提案団体名	：宇都宮大学 建築環境研究室
所属	：宇都宮大学 地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻
メンバー	：◎中山 紘希 佐藤 慧士 木下 萌々子 菅原 風馬
指導教員	：横尾 昇剛

【提案の要旨】

新型コロナウイルス感染症により人々が建物内で過ごすことが長くなり、多くの人々がストレスを抱えた生活を余儀なくされている。また、空き地増加という背景も重なり、まちなかの賑わいが落ち込み、都市空間の魅力が減少しつつある。そこで、人々が活動する場を半屋外へと広げ、活気あふれる空間へとつなぎ、地域の魅力向上を図る。

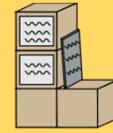
宇都宮市内に現在住んでいる多くのFANと屋内・屋外での活動をつなげるための地域の居場所を作り、人と人、人とモノのつながりを結び、これまでよりも活気、賑わいのあるFUNな街を提案する。

現状分析のため、国内外のアウトドアの事例調査や、半屋外活動空間の快適性調査・実測を行うとともに、新たな魅力となりうるアーバンファニチャーの検討を行った。

以上から本提案では、人と人の交流、人とモノをつなげる役割を持ち、屋外、半屋外空間をつなげ、くつろぎの場やワーキングスペースとして利用可能な、市民のサードプレイスとなりうる「宮のまちかど アウトドアプレイス」という施策事業を提案する。



宮のまちかど アウトドアプレイス

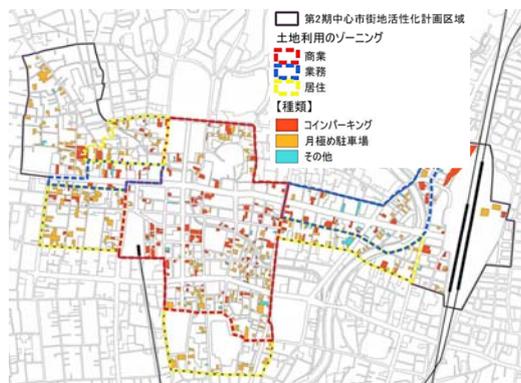


宇都宮大学 地域創生科学研究科・地域デザイン科学部 建築環境研究室

背景

①感染症により建物内での滞在時間の増加

②市街地で虫食い状に**空地が増加**



出典：宇都宮市「中心市街地における土地有効活用に向けた基礎調査（平成28年度）」

背景

課題 A) 感染症により建物内の滞在時間の増加
課題 B) 市街地内外における空き地の増大
課題 C) まちなかの賑わいの落ち込み

人々の交流やつながりを確保しつつ、
感染症対策や環境に配慮された場の創出が必要

人々の屋外利用を促進
まちなかのにぎわいを取り戻す

海外における屋外利用



L.L.Beanの屋外コワーキングスペース
出典：「Be an Outsider at Work」

国内における屋外利用



丸の内仲通りアーバンテラス

出典：大丸有地区公的空間活用モデル事業



品川アウトドアオフィス
on the Green

出典：品川シーズンテラスエリアマネジメント

オープンスペース充実化の推進

公園、広場等の整備・充実によるオープンスペースのネットワーク化

身近な公園の充実
緑道によるネットワーク化
Wi-Fiセンシング
画像解析

広場空間の活用

ワークブルな街路空間
との連携

都市公園・緑地等事業

公園緑地の整備・活用

自然環境を活かした運動空間
としての公園の利活用

民間主体による緑地空間の
整備・活用

国営公園等事業
都市公園・緑地等事業

出典：国土交通省都市局 令和3年度概算要求

半屋外での活動の促進は、感染症対策だけでなく、
省エネ・省CO₂につながり、脱炭素社会へと結びつく

宇都宮市におけるアウトドアプレイスの提案

- ① 適度な風通しと日射を確保した空間の提供
- ② 人々の新たな交流・つながりを生み出す
- ③ 都市の屋外空間における賑わいの回復
- ④ アーバンファニチャーによる新たな魅力

7

宇都宮市における活動・調査



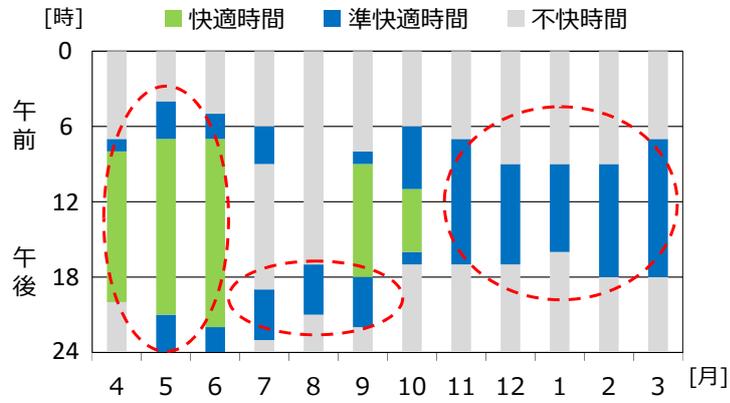
屋外ゼミ（釜川ふれあい広場）



屋外環境実測調査（大谷地区）

8

宇都宮快適時間調査



様々な場所での実測



街中



郊外

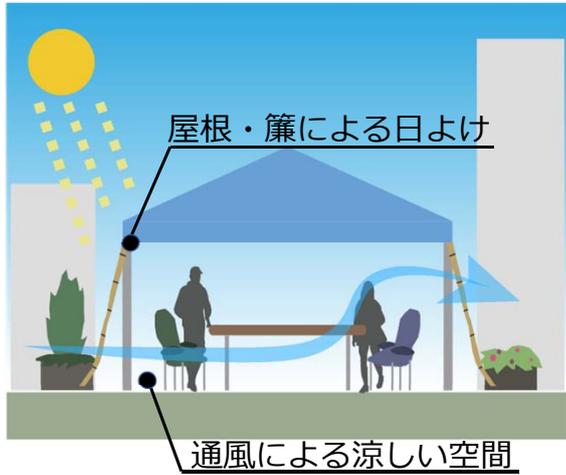


観光地



里山

夏における快適性の実測

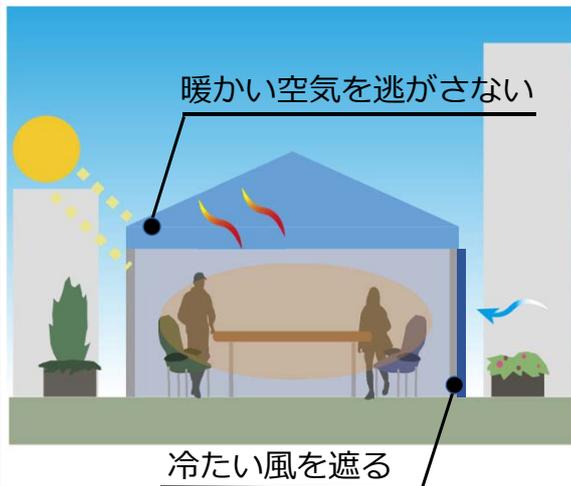


簾による実測



寒冷紗による実測

中間期における調査

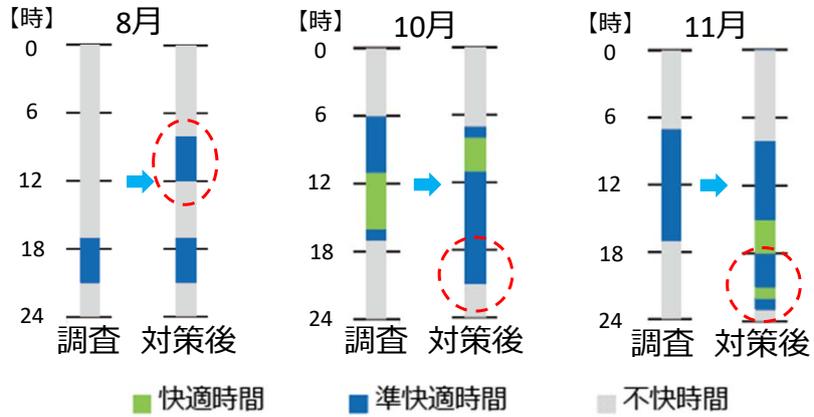


サイドカーテンの工夫



照明の工夫

快適時間の変化



アーバンファニチャー『M-BOX』の提案

『M-BOX』 —Miya, Moku, Multiple, Movable, Make



作成したM-BOX



M-BOX作成風景



M-BOX利用風景

アーバンファニチャー『M-BOX』の提案

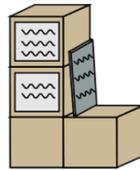
① 椅子・テーブル



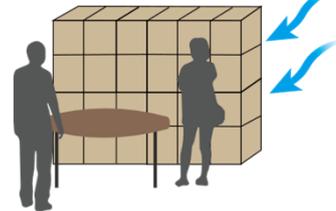
② 棚・荷物置き



③ 掲示板



④ 風よけ・パーティション



提案の効果

① 空調を使用しない快適な空間を街に創出

→省エネ・省CO2につながる

② 人々の新たな交流・つながりを生み出す

→人々の交流や活動の場の確保

③ 都市の屋外空間における賑わいの回復

④ アーバンファニチャーによる新たな魅力の創出

→宇都宮市の都市としての魅力が向上

**1. 街中の半屋外空間が、人々の交流やつながりの場となり、
屋内と屋外をつなぐ**

- 街中に存在する空きスペースを、**市民や来訪者など誰もがアクセスできるサードプレイス**として活用できる
- 様々な季節において、屋外の快適な空間で過ごすことで、**新しい働き方によるプロダクティビティを向上させる**
- 街中での自然と調和した新しいライフスタイルを提供する

**2. 場所や用途に応じたスケールでの展開が街の中心部と郊外
をつなぐ**

- 市民だけでなく観光客といった、宇都宮の観光FANや自転車等の**アウトドアスポーツFANの休憩場所として提供**

**3. 半屋外空間で利用できるアーバンファニチャーを提案し、
人々とモノをつなげる。**

- 新たな魅力となりうるアーバンファニチャーを設置することで、**宇都宮のあらたなファンをつなげる**

まとめ



この提案により、
宇都宮が一層魅力的なまちとなることを期待する。